

# なごみ

nagomi



JA愛知厚生連

江南厚生病院

Vol.37

2017.4

INDEX

コラム

## ① 地域医療連携について

## ② 「こうせいネット」のご紹介

### トピックス

地域医療連携センター・患者相談支援センターのご案内

HER2 と遺伝子検査について

「認知症スクリーニング」を始めました

もの忘れ外来について

### イベント紹介

院内コンサート

### お知らせ

看護師・助産師募集について

「看護の日」イベント開催のお知らせ

がんサロン「にじの会」のご案内

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

### 病院理念

- 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



# 地域医療連携について

副院長兼地域連携部長兼保健事業部長兼  
呼吸器内科代表部長兼愛北看護専門学校長

山田 祥之



皆さんは、国が2025年に向けて構築を目指している「地域包括ケアシステム」という言葉をご存知でしょうか？

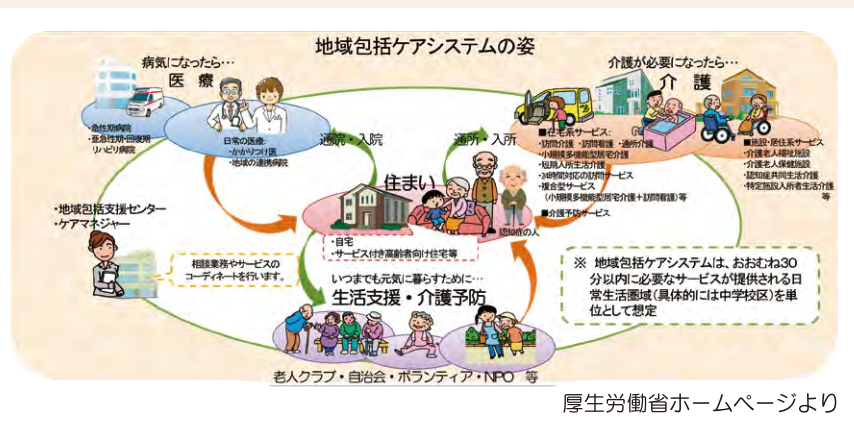
諸外国に例をみないスピードで高齢社会が進行している我が国では、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、医療や介護の需要は、現在よりさらに増加が見込まれています。こうした事態に備え、人生の最期まで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できるようなシステム：「地域包括ケアシステム」として、地域の特性に応じて作りあげていくことを目指しています。

「地域包括ケアシステム」は、自分の住む地域全体で、地域の医療を守っていく体制を作ることでもあり、地元行政や医師会、医療機関、介護・福祉施設等が相互に連携しあって、病気の発症から治療、在宅療養、生活支援、介護サービスまで、切れ目のない体制を作ることが必要となります。

当院は、尾張北部地域の中核病院として、地域の皆様からの期待に応えるべく、急性期医療を中心とした救急医療 及び 高度専門医療をさらに充実すべく体制整備をすすめていますが、こうした役割をより強化していくためにも、それ以外の医療の提供は、地域の他医療機関との連携がとても重要となります。当院の急性期医療だけでは患者さんに必要な支援ができない部分を、地域の他医療機関にお願いし、患者さんに対して行う医療などが一連の流れで行えるよう「地域連携パス」という治療計画にもとづき医療提供をしています。例えば、大腿骨頸部骨折や脳血管疾患については回復期リハビリテーション病床をもつ医療機関と、がん治療後のフォローでは開業医の先生と連携し、患者さんの通院の負担を少なくしていくように検討しながら取り組んでいます。

医療機関の役割を分担してお互いの長所を活かしながら連携することで、患者さんの症状に応じた適切な医療を地域全体で提供していくという考え方が、今求められています。当院では、医療機関・施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など地域関連機関の方々と「地域連携会議」を、また医師会、開業医や病院の先生方とで「地域連携交流会」を毎年開催し、お互いに「顔の見える連携」となるよう取り組んでおります。

医療機関の地域連携には、地域にある医療資源を大切に活用することで地域の皆様が住み慣れた場所で安心して暮らし続けていけるようにサポートする大切な役割があることをご理解いただければ幸いです。



厚生労働省ホームページより



# 「こうせいネット」のご紹介

## ～患者さんの診療情報連携の重要性～

地域連携部 地域医療福祉連携室長

野田 智子



### 江南厚生病院の診療記録を地域の医療機関の先生方と共有するシステム

江南厚生病院では、地域医療ネットワークシステム（こうせいネット）を導入している地域医療機関において、患者さんの同意がある場合に当院での診療情報を閲覧できるシステムを運用しています。どのような場合にそのシステムが活かされているかをご紹介します。

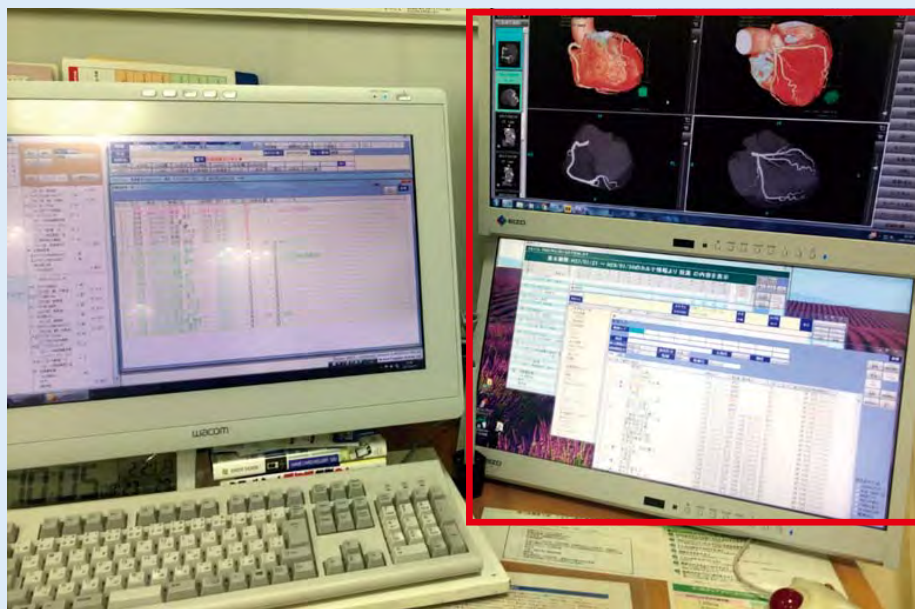
#### ●かかりつけ医の先生から紹介された場合

江南厚生病院での診療情報を、かかりつけ医の先生が見ることができます。当院から、再びかかりつけ医の先生に診療してもらうこと（逆紹介）になる場合にも、江南厚生病院での経過を理解した上で診療を行っていただくことができます。また、かかりつけ医でできない検査を当院に依頼された場合も、検査の結果などシステムを使って見ることができ、その後の診療に役立ててもらえます。

#### ●当院から地域の医療機関（かかりつけ医・転院など）に紹介する場合

江南厚生病院での診療情報を、継続して診療していただく先生方に参照していただき、その後の診療を引き継いでもらいます。

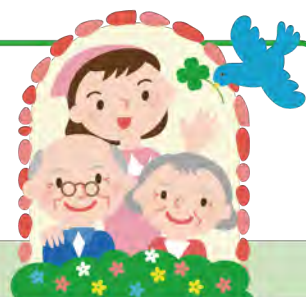
こうしたシステムは、患者さんの個人情報を守りつつ、複数の医療機関の医師が情報共有することで、実施した検査データなどを紹介後に活用していただくなど、患者さんにより適正な医療を提供することができます。現在、国が進める医療機能の役割分担の中では、患者さんが中心となり、様々な職種が医療機関の枠を超えて関わる



ことが想定されています。その際、患者さんの医療に関する情報を共有することは大変重要なこととなります。

地域の医療機関の先生方からの希望があった患者さん、また、当院にてシステム利用について承諾をいただいた患者さんには、こうした診療記録を共有するしくみが、安心、安全で質の高い医療につながっていることをぜひ知っていただきたいと思います。

# 地域医療連携センター・ 患者相談支援センター



## 2つの連携窓口・相談窓口の名称変更のご案内

江南厚生病院には、地域との連携窓口・患者さんやご家族の相談窓口が2つあります。

ひとつ目は、「地域医療連携センター」です。場所は1階の外来受付1・2の前にあり、以前は「病診連携室」でした。ここでは、かかりつけ医からの診察・検査の紹介予約など、地域の医療機関・福祉施設と当院をつなぐ医療連携が主な役割です。国が進める医療の役割分担の中で、かかりつけ医の先生と当院医師の診療情報の連携を事務職員、看護職員がお手伝いしています。

ふたつ目は、患者さんの相談窓口としての「患者相談支援センター」です。場所は2階の外来受付3・4の前にあり、以前は「医療福祉相談室」でした。ここでは、「がん相談」や在宅での医療（訪問診療や訪問看護）をうけるためのコーディネートなどの「在宅医療支援」、退院後の療養相談についての「退院支援」、様々な福祉制度やサービス、経済的な相談などの「福祉相談」、病院での医療療養上の相談などの「苦情、医療安全」など、ソーシャルワーカー、看護師、介護福祉士等の専門職が相談対応を行っています。

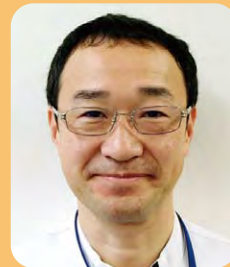
患者さん・ご家族の治療に伴う様々な相談支援を行っていますので、これらの窓口をぜひご利用ください。

## HER2と遺伝子検査について

皆さんはHER2（ハーツー）という言葉をご存知でしょうか？

HER2は、細胞の表面に存在しており、細胞の増殖などに関与しています。何らかの理由でHER2の遺伝子に変異が起これると、勝手に細胞が増殖を始め、悪性化します。乳がんや胃がんなどでHER2遺伝子の増幅がみられます。

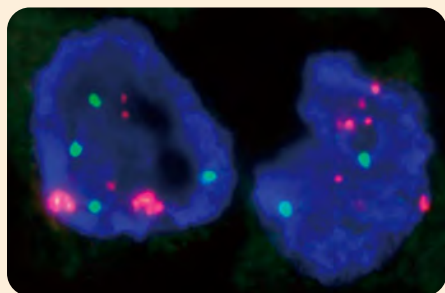
当院では、ハーセプチンなどの分子標的治療薬の適応の有無や、術後再発のリスクを調べるために乳がんまたは胃がんの組織を用いてHER2遺伝子の増幅を検査しています。フィッシュ法という遺伝子検査は、HER2遺伝子だけに結合する物質に蛍光色素を結びつけ、がん細胞と反応させたのち蛍光顕微鏡で観察する検査方法です。HER2遺伝子が蛍のように光るので、赤色と緑色の光の数を数えて、多ければ増幅あり、少なければ増幅なしと報告します。当院では、検査開始から2日後に結果報告が可能です。この他、リンパ腫



臨床検査技術科  
病理・微生物課長

住吉 尚之

や軟部腫瘍を含めた最先端の遺伝子検査を実施しています。





# 「認知症スクリーニング」を始めました



わが国の認知症高齢者の数は、2012（平成24）年で462万人と推計されており、2025（平成37）年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれており、認知症は身近な病気になってきています。

認知症高齢者の方は、入院という環境の変化によって、転倒・骨折や身体・認知機能の低下の危険性が高くなります。また、行動・心理症状や意思疎通の困難さが見られ、身体疾患の治療への影響が出る場合があります。

そこで江南厚生病院では、平成29年1月より、「認知症スクリーニング」を始めました。「認知症スクリーニング」とは、入院が決定した方（救急外来は除く）に対して、以下の認知機能4項目について確認させていただくもので、所用時間は5分程度です。

- ① お年はいくつですか？
- ② 今から3つの言葉を言うので看護師の後に繰り返し言ってください
- ③ 今日は何月何日ですか？今の季節は春、夏、秋、冬のどのあたりですか？
- ④ さっき覚えた3つの言葉は何でしたか？

スクリーニングの結果により、さらに詳細な認知機能検査を病棟で行い、入院時より認知症症状の対応に早期に取り組むことにより、病気の治療を円滑に受けさせていただきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## もの忘れ外来について

当院では2014年4月「もの忘れ外来」を開設し、毎週火曜日14：00～17：00に予約制にて診療を行っています。開設時は、当院の医師が主治医の患者さんのみを対象としていましたが、近年の認知症状のある患者さんの増加に伴い、2015年4月より地域医療機関からの紹介での診療も行っています。国の新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）や認知症の地域ネットワークに基づき、認知症疾患医療センターの「いまいせ心療センター」とも連携しています。また、現時点では初診から確定診断まで4週間を要していますが、外来では、医師と共に看護師・臨床心理士が患者さんにご家族の気持ちに寄り添えるよう関わっています。診察時には医療・福祉・介護サービスを有効に活用することができるよう情報提供やソーシャルワーカーへの相談、地域の認知症家族会の紹介なども行っていますので、ご心配やお困りのことがございましたらお気軽に外来スタッフにお声をお掛けください。

### イベント紹介

## 院内コンサート Concert

12月21日  
(水)

The ClearFlow



2月21日  
(火)

ボーニ・アミーチ



12月はクリスマスゴスペル、2月はオカリナ4重奏コンサートが行われました。両日とも美しいハーモニーが奏でられ、非常に気持ちが安らぐコンサートでした。

# 看護師・助産師 募集

< 看護部病院説明会 開催予定 > 平成30年4月採用の看護職員を募集します。

4/15 (土)	9:00~12:00 (開場8:30) 江南厚生病院2階講堂にて
4/29 (土・祝)	病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学など
5/13 (土)	参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。
5/20 (土)	詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。
6/ 3 (土)	※選考会は6月17日(土)・7月1日(土)に行います。 お問い合わせは 看護管理室 まで TEL (0587)51-3332

## 「看護の日」イベント開催のお知らせ

テーマ **看護の心を みんなの心に**  
～みんなの笑顔のために～

開催日 平成29年5月11日(木)・12日(金)

時間 10:00~15:00

場所 江南厚生病院2階 講堂

身体測定・健康相談・ちびっこ白衣体験・講演会・演奏会など楽しいイベントを開催します！

入場は  
無料です  
お問い合わせの上  
お越しください



仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

## 平成29年度 がんサロン「にじの会」のご案内

参加費  
無料

●対象 **がんを患っている患者さん  
あるいは、そのご家族**

●内容 10:00~10:30 フチ講座  
(2か月毎に内容を変更します)  
10:30~11:30 参加者同士の交流

●場所 **外来2階 多目的室**  
※外来用エレベーター前

●参加方法 **自由参加**

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
4/1(土)、5/2(火)	「今の自分も好き!」~自分らしく、より元気になるためのコツ~	がん化学療法看護 認定看護師
6/3(土)、7/4(火)	医療用麻薬について知識を深める	がん性疼痛看護 認定看護師
8/5(土)、9/5(火)	知っておこう! いざという時の療養場所	がん看護専門看護師
10/7(土)、11/7(火)	がん患者のための食事の工夫	管理栄養士
12/2(土)、1/16(火)	サプリメントとのつきあい方	薬剤師
2/3(土)、3/6(火)	ここまでできる! 在宅医療の実際	ソーシャルワーカー

<問い合わせ先> がん相談支援センター TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317  
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

### ●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

### ●面会時間の ご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00~20:00	13:00~20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

## 2017年(平成29年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

発行日/平成29年4月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300